

2023年12月14日

報道機関 各位

「産学のコンソーシアムによる洋上風力発電大学教育カリキュラム等整備事業」が経済産業省資源エネルギー庁の「洋上風力発電人材育成事業費補助金」に採択 ～5地方大学と4発電事業者が産学のコンソーシアムを形成し、洋上風力発電分野の大学における人材育成体制の整備を目指す～

本学を含む8者による産学のコンソーシアムで応募した「産学のコンソーシアムによる洋上風力発電大学教育カリキュラム等整備事業」が経済産業省資源エネルギー庁の令和5年度「洋上風力発電人材育成事業費補助金」に令和5年8月17日付けで昨年度に続いて採択されました。概要は下記のとおりです。

記

1. 国補助事業名：令和5年度「洋上風力発電人材育成事業費補助金」
2. 採択事業名：産学のコンソーシアムによる洋上風力発電大学教育カリキュラム等整備事業
3. コンソーシアムメンバー：5大学及び4発電事業者
 - ・代表補助事業者：国立大学法人 長崎大学
 - ・参加補助事業者（順不同）：国立大学法人 秋田大学
公立大学法人 秋田県立大学
公立大学法人 北九州市立大学
国立大学法人 千葉大学
三菱商事洋上風力株式会社
株式会社 JERA
東京電力リニューアブルパワー株式会社
ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社（※）

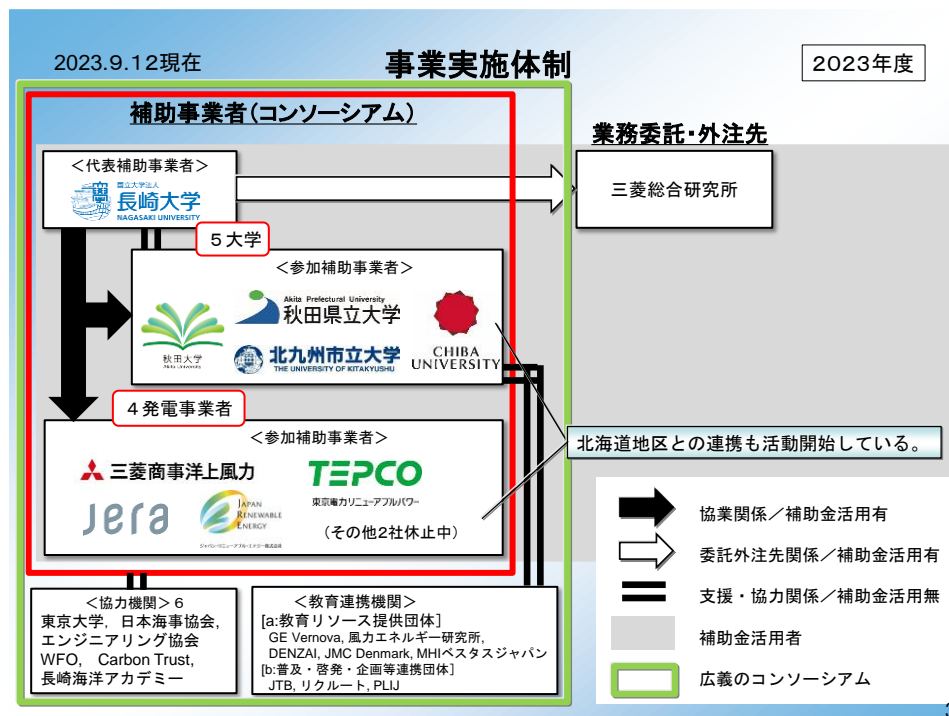
※ 応募後にジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社が参画し、採択後のコンソーシアムメンバーは5大学及び4発電事業者となっています。

4. 事業内容の概要

我が国の洋上風力の導入促進に資する人材を輩出するため、大学生・大学院生を対象に、地元でウインドファームが展開する計画をもつ地方大学が広域に連携し、発電事業者を中心とする産業界とコンソーシアムを形成し、今後ますます必要となる洋上風力の事業開発に携わる高度な専門知識と現場実践力を備えた高度人材の育成のための仕組みやカリキュラムを産学が連携して策定します。

さらに、コンソーシアムに参加している4つの発電事業者の知見、東京大学や日本海事協会など先端研究や技術認証等を行う機関の協力、専門性の高いシンクタンクをパートナーとした国内外の事例調査やコンソーシアムミーティング等により、我が国の洋上風力産業の競争力の強化や地域創生にもつながる海洋開発を担う人材を生み出す「しくみとカリキュラム」を作成します。検討においては、アジアで唯一の洋上風力の総合的な社会人育成機関「長崎海洋アカデミー」のプログラムを取り入れ

た学生向けの講座開発や、英国などにみられる企業現場での長期インターンシップ、発電事業者が有するウインドファーム現場と連携した学生教育など、従来の大学教育では実現できなかった新たな手法の導入も産学連携により検討していきます。



事業の実施体制

・ 協力機関

国立大学法人 東京大学、一般財団法人 日本海事協会、一般財団法人 エンジニアリング協会、WFO (World Forum Offshore Wind)、Carbon Trust、長崎海洋アカデミー (NPO 法人長崎海洋産業クラスター形成推進協議会)

・ 教育連携機関

GE Vernova、株式会社 風力エネルギー研究所、DENZAI 株式会社、JMC Denmark、MHI ベスタスジャパン株式会社、株式会社 JTB、株式会社リクルート、PLIJ (一般社団法人 学びのイノベーション・プラットフォーム)

【国事業受託事務局 (ランドブレイン株式会社) によるリリース】

令和5年度洋上風力発電人材育成事業補助金 (経済産業省資源エネルギー庁)

採択結果 (https://www.offshore-wind-power.jp/files/r5_result.pdf)

事業者の紹介 (<https://www.offshore-wind-power.jp/#business>)

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学 研究国際部 研究推進課

TEL : 095-800-4122

E-mail: kaiyou@ml.nagasaki-u.ac.jp